



南足柄小学校だより

# 進取の気象

R4. 11月号

今年の秋は、コロナ禍前に近い内容の行事や授業ができるようになっていきます。十月末に行われたスポーツフェスティバルは、五、六年生が二つの部のそれぞれのリーダーとなって活躍して盛り上げてくれました。一、四年生も練習の成果をしっかりと発揮していました。保護者の皆さんの温かい応援も、大きな力になりました。ありがとうございました。

十一月になって、校外学習を実施する学年もあり、体験活動を充実させながら、学力向上に向けて取り組んでいます。今年度、六年生対象に実施された全国学力学習状況調査の結果を分析したところ、本校では、「粘り強く取り組む学習」に対する姿勢が、高まっている」という成果が表れています。一方で、「自分の考えや文章から読み取ったことをまとめる活動をさらに積極的に取り入れていく必要がある」という課題も見えてきました。そこで、日々の授業では、自分の力で問題を解き、さらにクラスのみんなで考えを深め合いながら、言葉や文章で表現する力を身につけられる授業づくりを一層めざしていきます。そして、コロナ禍でも、日々の学びを通して「考える力」をどう育てていけるかを追究していきたいと思えます。

## 学校の廊下から(六年生の俳句)

夕暮れの 仮装でばけた  
かげぼうし



## 運営委員会の取り組み

### 掃除を大切にす南小

『だまって掃除』を合言葉に運営委員会の呼びかけで、全学級に毎週アンケートをとり、掃除のレベルアップをめざしています。



PTA主催「なんふえす」  
子どもたちに笑顔を



### プレゼントしよう!

来る十一月二十六日(土)の午後、感染防止対策を講じながら、PTA主催の「なんふえす」を開催します。コロナ禍で生活が一変し、制限の多い窮屈な日々を過ごしている子どもたちに、少しでも楽しく笑顔いっぱい時間を過ごすてあげたいという熱い思いで、企画してきたイベント実行委員会。その思いが子どもたちに届くことを願っています。

## 創立百五十周年に向けて

百五十周年式典に向けて、五年生が実行委員会を立ち上げました。まずは、『百五十周年式典のめあて』を考案し、左のとおり決定しました。少しずつ六年生から五年生にリーダーのバトンが引き継がれてきています。

### 百五十周年式典のめあて

『南小の歴史がたくさんの人々の思い出に残り、笑顔あふれる式典にしてその経験を未来へつなごう』



## 道路での安全な行動を考えよう

先日、地域の方から連絡がありました。子どもたちが下校の際、市役所前の横断歩道を渡らずに、南足柄小学校や文化会館側から、反対側の市役所や南足柄中学校側に向かって道路を横切って渡ったため、下ってきた車ともう少しで接触する危険な状況が起きたそうです。直ちに、学校では、安全な登下校の歩き方を一人ひとりが考える指導を行いました。自分の命は自分で守らなくてはいけません。また、事故を起こしてしまった相手側にも大きな迷惑をかけてしまいます。学校での指導後、低学年の子でしたが、知り合いと思われる大人の方が、手まねきして道路を渡っておいでと、合図を送っていたところ、「だめだよ。そこは横断歩道を渡らなくっちゃ!」と言って、市役所前の横断歩道をちゃんと渡っていたそうです。まずは、大人が子どもたちに正しいルールを背中で見せていきたいものです。

